

MECCだより

武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会広報紙 第48号 2018年 11月

もくじ

環境カウンセラー全国交流会 in 滋賀・琵琶湖	竹本 秀人
第13回エコアクション21 全国交流研修大会 in 東京	倉光 康夫
神田川サミット2018 @善福寺川	保坂 公人
医療廃棄物のゆくえ	野村 和男

環境カウンセラー全国交流会 in 滋賀・琵琶湖

2018年9月27～28日

竹本 秀人



環境学習船megumi号

船上交流会

琵琶湖は400万年の歴史を持つ古代湖であり、世界三大淡水湖である。今年の交流会は大阪環境カウンセラー協会と協力の近畿ブロックEC各協会ご支援により、琵琶湖汽船の環境学習船megumi号がチャーターされ、台風の合間、晴天に恵まれ、抜けるような秋空の下、船上にて始まった。

環境省近畿地方事務所幹部および佐々木ECU代表理事による挨拶、琵琶湖汽船 川戸社長による琵琶湖の生態系現状や生業等のお話、近畿ブロック各EC協会の環境カウンセラー専門家による以下の講話や水質実験等があり、4時間にわたる充実した内容であった。

1. 滋賀環境カウンセラー協会：琵琶湖のデータに基づく生物多様性及び滋賀県でのSDGs現状・取組の説明
2. 環境カウンセラーズ京都：京都府で唯一の村、南山城村の野殿の森林を近畿ブロックECも支援して保全維持活動を展開。著者もこの活動を仲間と長年支援している。

3. 奈良環境カウンセラー協会：奈良県環境県民フォーラムが中心となり促進している地域の環境保全活動を紹介。大和川のBOD変化などのデータを長年測定している。

4. 環境カウンセラー会ひょうご：環境活動の取組の現状説明

5. 大阪環境カウンセラー協会：大阪水道局元研究員の環境カウンセラーが琵琶湖水質と水道事業を講話。湖水を採取し、汚染度・酸性度等の検査を試薬を用い顕微鏡を見ながら参加者と共に行った。

途中、沖島で下船し琵琶湖漁業組合との昼食と視察を行った、350有余人の人口に激減した島の過疎化の現状を垣間見た。

琵琶湖には400以上の河川より水が流れ込み、更に淀川等に流れ、近畿地域1,400万人へ貴重な水を供給している。正にマザーレイクと再認識した。



ラコリーナ近江八幡の視察



ラコリーナ近江八幡メインショップ

長命寺港で下船し「ラコリーナ近江八幡」(株)たねや) 訪問。案内人により、2015年パリ会議採択の17のゴールであるSDGsを事業理念に取り入れている(株)たねやの事業展開や、近江八幡の食文化の歴史と近江の三方よしの理念発信が説明され、広大な土地に縄文時代の原風景を再現した棚田や田畑を見学した。続いて(株)たねや社会部長よりSDGsに基づく事業、働き方改革、環境食材を生かす事業活動の講話を拝聴した。

交流会総括

MECCからは一條理事(ECU教育委員長)と私が参加した。今回交流会には北は北海道、南は九州まで、歴代最大50名超の参加があった。環境船megumi号は水質調査機器、太陽光発電装置、風力発電装置、バイオ燃料添加型ディーゼル機関を搭載し、船上で美しい景色の移ろいを見ながら、時間がゆったりと流れる中、湖上講話や実験等が行われ、船内で全国のEC仲間との意見交換により、地域に根付いた環境カウンセラー活動の原点に気づき、多くの学びとなった。

昨年より交流会を準備され、実行された大阪環境カウンセラー協会と近畿ブロックの関係者の皆様と御礼申し上げたい。私は大阪環境カウンセラー協会の一員としても本交流会の企画・運営に携わり、各地でのECの皆様の活動の大変さを再認識した。

最後に、6年前にも日米学生会議の琵琶湖研鑽で大変お世話になった琵琶湖汽船川戸社長に今回も特別の御支援を頂いた。深く御礼を申し上げる。

第13回エコアクション21全国交流研修大会 in 東京

2018年10月12日(金)～13日(土)

ベルサール神田(東京都千代田区)

倉光 康夫

今全国研修大会の運営は地域事務局東京中央が担当し、実行委員会(中村日出夫委員長)には城北・杉並・武蔵野多摩の各環境カウンセラー協議会の審査員が多く参画しました。

エコアクション21(以下EA21)は現在、ガイドラインの変更、審査員の再登録、地域事務局の再編等、制度改革の真最中です。このような中ですので、参加は約450名、審査員(人)の65%が集まりました。当初の予定よりかなり多く、満員の大会になりました。



環境省森本事務次官、東京都環境局若林部長の臨席と挨拶をいただき、五箇公一氏(国立環境研究所生体リスク評価・対策研究室長)の基調講演「生物多様性と私たちの生活」は身近なテーマで興味深い内容でした。

次にEA21新ガイドラインの変更の主要項目である「機会とリスク」についての研修。このグループワーク研修では登録事業者三社の環境活動レポートとホームページ上の会社案内を事業者の許可を得て使用しました。課題を審査員として実際の審査でどのように対応していくか、27のグループで熱心に討議し、翌日にその成果をグループの代表が発表しました。

懇親会は研修グループ別に集まり親睦を図りました。

2日目には、環境省西村環境経済課長から「エコアクション21に関係する環境省の新たな施策について」の講演と、森下事務局長から地域事務局の改革案等の説明がありました。今大会は派手ではなく、実務的で、内容の濃い大会でした。

来年は11月1、2日に岡山県倉敷市で中国地域の事務局が担当して開催される予定です。

神田川サミット2018 @善福寺川

副題：川と人の雨活 ～善福寺川の上流にくらす人がやれること～

日時・場所：2018年10月13日（土）杉並区立ゆうゆう善福寺館

主催：神田川ネットワーク／ゆうゆう善福寺館 共催：NPO 武蔵野多摩環境カウンセラー協議会

運営協力：遅野井川かっぱの会／NPO 杉並環境カウンセラー協議会／善福寺川を里川にカエル会／
みどりの善福寺川を愛でる会

後援：杉並区

保坂 公人

午前：善福寺川上流部ウォーキング 10:00～12:00
午後：フォーラム

1. 講演：栗原 秀人さん（下水道広報プラットフォーム (GKP) 企画運営副委員長、メタウォーター (株) 技監）

「川と向き合う暮らし方」

2. 報告：住谷 陽子さん（杉並区立井荻小学校教員）

「子どもたちの夢と遅野井川」

3. パネルディスカッション

「川の課題を知って、解決するには？」

【コーディネーター】

中村 晋一郎さん（名古屋大学講師）

【パネリスト】

野田 栄一さん（郷土史研究家）

渡辺 剛弘さん（善福寺川を里川にカエル会）

渡辺 博重さん（遅野井川かっぱの会）

三浦 純悦さん（杉並区都市整備部土木計画課長）

4. 善福寺川宣言採択

5. 交流会

参加者 午前 20名（スタッフ含む）

午後 フォーラム 59名（スタッフ含む）

交流会 26名（スタッフ含む）

善福寺川上流部ウォーキング

西荻窪駅前に集合、三班に分かれ順次善福寺川に向かいました。最初は関根橋の近く（左岸）にある善福寺川流域貯留管工事現場を見学しました。大雨で雨水が善福寺川に溢れ出るのを少しでも防ごうという工事です。善福寺の下池際から環状八号線までの管路の一部です。管の内径は2.4mということです。



流域貯留管の工場の説明を聞く

ここから上流に向かって歩きます。生息する魚や水草、水鳥などの多様な自然を観察します。大水さえ出なければ長閑な風景です。あちこちに湧水もあります。



川底からの湧水

善福寺の上池と下池を繋ぐ水路は、遅野井川として



遅野井川

この夏に復活しました。子どもたちも自由に入れる小さな流れは住民の方が管理しています。ただし流水は井戸水使用です。

フォーラム

栗原秀人さんは下水と雨水の関係をわかりやすく説明しました。近隣の下水は新宿区の落合再生センターに行くものと新河岸の再生センターに行くものに分かれる仕組みも説明がありました。

住谷陽子さんは井荻小学校の子どもが善福寺川に係わってきた歴史を中心に報告をしました。

パネルディスカッションはパネリストがそれぞれの立場から報告し、問題の対処法などにも言及しました。

善福寺川宣言は詩のような文章で参加者の善福寺川に対する深い愛を感じるものでした。



パネルディスカッション

医療廃棄物のゆくえ

社会医療法人社団 愛有会 久米川病院(東村山市)
総務課 産業廃棄物管理責任者
野村 和男

今回、縁ありましてテンプル大学ジャパンキャンパス企業内教育からの依頼で、バングラデシュ政府関係者(日本の環境省に当たる)に病院の廃棄物処理を2時間、通訳を交えて説明いたしました。その時の内容に沿って、医療廃棄物のゆくえを解説させていただきます。

1970年代、日本での廃棄物処理は、皆まとめて(紙・生ゴミ、プラスチック、廃材等)ビニール袋に入れて、廃棄していました。

その結果、廃棄場所の東京湾埋立地(夢の島)では、カモメの大群が餌をあさり、ねずみ・蚊・悪臭・メタンガスの発生が絶えませんでした。



当時は色々な公害が発生し、水銀汚染の水俣病、銅製錬での足尾銅山鉍毒事件、カドミウム汚染のイタイイタイ病、PCB混入のカネミ油症事件、大気汚染の四日市ぜん息等の人体に悪影響を及ぼす問題が噴出しており、その対策として公害に対する防止法が制定され、改正され、今日に至っています。廃棄物も同様で、現在ではまずゴミを出さないようにし、燃えるゴミ・燃えないゴミ等に分別し、リサイクルできるものは再利用します。再利用できないものだけ埋め立てています。現在の埋立地では、廃棄物の上に土をかぶせ、廃棄物と土を層状に仕立てることで防臭を計り、またメタンガスを利用して発電を実施しています。

さて、病院での分別は、紙ゴミ・プラスチックゴミをまとめ、ボイラー燃料を作る中間処理施設に出しています。使用済みオムツ・生ゴミは、焼却施設に出します。特別管理産業廃棄物である感染性廃棄物(血液等が付いた注射針等・血液等が付いたガーゼ等:両者も分別)は焼却して発電する中間処理施設に出します。

その他、リサイクル用にペットボトル、ビン、缶、段ボール、シュレッダーゴミ、厚紙等を分けます。分別した廃棄物は種類ごとに、漏れがなく強固な倉庫に鍵をかけて保管し、間違わないよう表示しています。



当院は、自院での廃棄物処理は出来ない為、許可を持った業者に収集運搬や処分をしてもらっています。廃棄物を出す時には、マニフェスト(管理表)7枚綴りを発行し、最終処分場の処分をした伝票が戻ってきた時

産業廃棄物管理票(マニフェスト) A	
0001073411	整理番号 同左
久米川病院	名称 医療法人社団
042-392-3228	所在地 〒189-0311
3-10	東京都東村山市
普通の産業廃棄物	特別管理産業廃棄物
種類	種類
1100 ゴムくず	<input type="checkbox"/> 7300 感染性廃棄物
1200 金属くず	<input type="checkbox"/>
1300 ガラス陶磁器くず	<input type="checkbox"/>
1400 紙さい	<input type="checkbox"/>

に、出した廃棄物が完全に処分されたと判断し、伝票が戻って来た日付を控えの伝票に記入します。排出者責任と言って、廃棄物の発生から最終処分をした過程を確認する措置を取らなければならないことになっています。

なお現在ヨーロッパでは、水銀の製造や使用が法律で禁止されています。当院でも水銀使用の体温計や血圧計を許可処理業者に依頼し全廃し、水銀レスの体温計・血圧計に移行しました。他にPCB(ポリ塩化ビフェニル:発がん物質→カネミ油症時の物質)が入っていた保管廃棄のコンデンサーも今年度廃棄処理しました。

以上のように当院は、一般・産業廃棄物を極力出さないようにし、リサイクルに努めています。ささやかではありますがCO₂の削減に協力し、地球温暖化防止に努めております。

発行者: NPO 武蔵野多摩環境カウンセラー協議会(MECC)事務局
〒180-0011 東京都武蔵野市八幡町3-1-1 稲田 昂
TEL: 042-646-3822
ホームページ: <http://www.mecc.or.jp/>
編集者: 望月 眞